

## 平成29年8月度活動報告

### 1. 総括

夏真っ盛りの8月も多くの方にご指導頂き議員活動に励ませて頂きました。ありがとうございました。8月5日～6日は議員派遣で敦賀市議会を代表して姉妹都市である水戸市の水戸黄門祭りに参加させて頂き、水戸市の友好親善都市である香川県高松市と滋賀県彦根市の議員の方々と共に祭りを通して親睦を深めさせて頂きました。また、8日～10日は会派で主に福島第一原子力発電所と日本原電東海発電所の廃止措置状況の現地視察をさせて頂きました。原子力事業の現況、諸事項に関しては敦賀市の議員として深く把握して議論できる知識が必要という先輩議員からのご指導もあり、先方のご理解のもと現場を見させて頂きました。まさに百聞は一見にしかずで、事業者の生の声を聞かせて頂きしっかりと学ばせて頂きました。敦賀市としても日本原電敦賀1号機、もんじゅの廃止措置が決定している中で今回の現地視察で得た知見を糧に行政として安全第一に廃止措置が実施される環境が確保されるように議論に努めて参ります。



### 2. 東京電力福島第一原発現地視察について

#### (目的)

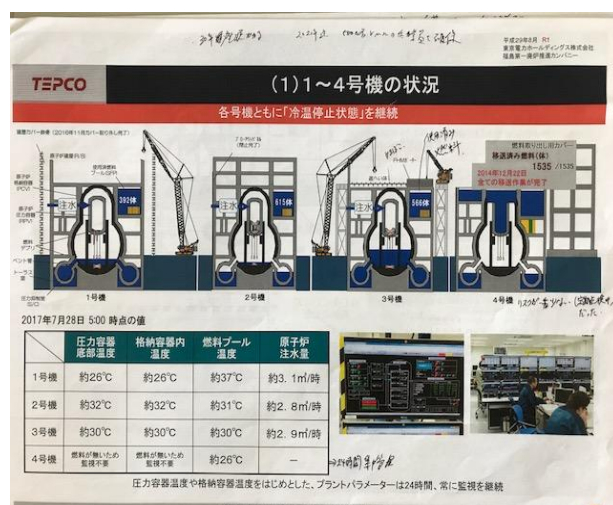
本市として日本原電敦賀1号機、もんじゅの廃止措置が決定されている中、ケースの相違はあるが現在東京電力が総力を上げて廃止措置を行っている福島第一原子力発電所1, 2, 3, 4号機を視察し知見を深め、今後の原子力行政の政策提言に繋げるため。

#### (内容)

3. 11以降廃止措置を進めている福島第一原発の各号機を視察した。特に廃止措置が進んでいる3号機については現在使用済み燃料プールからの燃料取り出しに向け、2016年12月に遮へい体装置が完了との事。現在燃料取り出し用カバー設置作業を実施中であった。1号機、2号機に関しても様々な廃止措置が進行していた。そのような取組みも長期化(約30年)するのが確実であり、人材・要員確保が最重要となってくるので被ばく線量の徹底管理と協力会社へは随意契約を結んでいる状況。また大型の休憩所を建設するなど労働環境の改善に鋭利努力している印象を強く受けた。

#### (所感)

今回至近距離で福島第一原発1,2,3,4号機の廃止措置状況を視察し説明を受け、着実に廃炉措置は進んでいると感じた。マスコミ等の報道では廃止措置が全く進んでいないような印象を持つようなものがあるが、実際は東京電力と協力会社が力を合わせて毎日5,000人規模の作業員が一步一步廃止措置に向けて努力していることが分かった。本市としても日本原電敦賀1号機、もんじゅの廃止措置が決定している中で、今後進んでいく廃止措置の技術的な部分については現在福島第一原発で行われている廃止措置の知見を大いに参考にしていく部分はあると考える。また敦賀市の議員としても今回視察し学んだ事をしっかりと吸収して今後の原子力行政への政策提言に繋げ、敦賀市で安全に廃止措置が行われるように活発に議論していきたい。



以上